

精神保健福祉援助技術総論Ⅰ

			単位数	履修方法	配当学年
			2単位	R or SR	2年以上
科目コード	CR3153	担当教員	志村 祐子		



※この科目は、平成24年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成23年度以前に入学した方は履修することはできません。

■科目の内容

平成24年4月からの新カリキュラムにおいて、本科目は「精神保健福祉相談援助の基盤（基礎・専門）」にあたるものです。「総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術」ならびに「医療と協働・連携する相談援助の方法に関する知識と技術」を習得することが求められています。主な内容は様々な問題に対応する精神保健福祉士としての役割、相談援助の定義・理念・形成過程、他の専門職についての理解をした上での多職種との連携の仕方などについて学びます。「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」を学ぶ上での基盤となる科目です。

■到達目標

- 1) ソーシャルワーカーとしての倫理、役割を理解して説明することができる。
- 2) 精神保健福祉領域の歴史が説明できる。
- 3) 基本的原則を説明することができる。

■教科書（「精神保健福祉援助技術論Ⅰ」と共通）

新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『改訂新版 精神保健福祉士養成セミナー 3 精神保健福祉相談援助の基盤 [基礎][専門]』へるす出版、2013年
 （最近の教科書変更時期）2014年4月

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	精神保健福祉士の役割と意義①（第1章1）	わが国の精神保健福祉施策の変遷と精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 キーワード：PSW、精神保健福祉士、精神衛生運動、「Y問題」、「宇都宮病院事件」、精神病患者監護法、精神病院法、精神衛生法、精神保健法、精神保健福祉法、障害者基本法、任意入院制度、告知義務、障害者総合支援法	歴史的事件を踏まえながら、精神保健福祉に係る諸制度の変遷について理解し、精神保健福祉士に求められる「精神障害者の社会的復権と福祉」の意味を押さえる。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
2	精神保健福祉士の役割と意義② (第1章I)	精神保健福祉士と社会福祉士の双方の役割と専門性について理解する。 キーワード：社会福祉士、資質向上の責務、他職種との連携、「入院医療中心から地域生活中心へ」、「社会的入院」、「ワーカーとクライアントの関係性」、ジェネリック、スペシフィック	社会福祉士と精神保健福祉士のそれぞれの専門性と役割について押さえる。
3	現代社会と精神保健福祉士① (第1章II)	精神保健福祉士の役割の変化と現代社会における精神保健福祉の課題について理解する。 キーワード：社会生活技能訓練（SST）、「入院医療中心から地域生活中心へ」	現代社会の特徴と精神保健福祉の課題についてまとめる。
4	現代社会と精神保健福祉士② (第1章II)	ソーシャルワークの定義を理解する。 キーワード：「医療観察法」、多職種チーム、人権擁護、地域移行、地域生活支援、社会的入院、クライアントのアドボケート、ソーシャルアクション	チームアプローチ、ソーシャルアクションの重要性について理解する。
5	ソーシャルワークの定義と構成要素① (第2章I)	ソーシャルワークの定義と構成要素を理解する。 キーワード：3分法、社会診断、社会的治療、アダムス、診断主義、機能主義、ケースワークの7原則、医学モデル、生活モデル、見立て、ストレングスモデル、傾聴、クライアントの自己決定、地域に生きる生活者	ソーシャルワーク理論の変遷を抑えた上で、ソーシャルワークの定義や知識・価値・技術について理解する。
6	ソーシャルワークの定義と構成要素② (第2章I)	精神保健福祉士の基盤としてのソーシャルワークの価値・理念と原則を理解する。 キーワード：ソーシャルワーカーの倫理綱領、自己開示、コンプライアンス、時熟、協働、私宅監置、人権侵害	ソーシャルワーカーの価値について、教科書 p.42～46のキーワードから整理し理解する。
7	ソーシャルワーク関係における価値・理念と原則① (第2章II)	個別援助技術（ケースワーク）の原則を理解する。 キーワード：個別援助技術、バイステックの「7つの原則」、パターンリズム、ストレングスモデルの6原則	教科書 p.47～51のバイステックの「7つの原則」、p.52のラップのストレングスモデルの6原則について理解する。
8	ソーシャルワーク関係における価値・理念と原則② (第2章II)	ソーシャルワークの概念、独自の「かかわり」の視点について理解する。 キーワード：人と状況の全体性、リッチモンド、マイルズ、パールマン、トーマス、ラポポート、リード、エプスタイン、ジャーメイン	「人と状況の全体性」の視点について理解し、キーワードに挙げる人物が提唱した理論について内容を整理する。
9	ソーシャルワーク関係における価値・理念と原則③ (第2章II)	ソーシャルワーク関係（かかわり）の固有性について理解する。 キーワード：「ここで、今（here and now）」、フォーマルケア、インフォーマルケア、コミュニティケア	教科書 p.39「人と状況の全体性」を踏まえ、クライアントとの「かかわり」において「ここで、今（here and now）、何を望むのか」を重視する関係性について理解する。精神障害者の支援における有機的な連携について理解する。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
10	ソーシャルワーク関係における価値・理念と原則③ (第2章II)	ソーシャルワーカーとしての自己覚知について理解する。 キーワード：自己覚知、専門的統制、スーパービジョン、スーパーバイザー、スーパーバイジー、管理的機能、教育的機能、支持的機能	自己覚知や専門的統制、ソーシャルワーカーを支えるスーパービジョンの意義と必要性について理解する。
11	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの歴史① (第3章I)	イギリスにおけるソーシャルワークの歴史について理解する。 キーワード：エリザベス救貧法、新救貧法、慈善組織協会、貧困実態調査、心的外傷後ストレス障害 (PTSD)、精神医学ソーシャルワーカー	教科書 p.59～61の「エリザベス救貧法」制定から第一次世界大戦を経た「精神保健法」までの流れを整理する。
12	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの歴史② (第3章I)	イギリス型福祉国家の進展と精神保健のかかわりについて理解する。 キーワード：「ベバリッジ報告」、「シーボーム報告」、「パークレー報告」、「地域ケア失敗の時期」、「認定ソーシャルワーカー制度」、「ソーシャルケア協議会 (GSCC)」	教科書 p.62～64の社会保障制度の確立から近年に至るまでの福祉施策等の流れを押さえる。
13	アメリカにおける精神保健福祉分野のソーシャルワーク発展の歴史① (第3章II)	アメリカにおける精神保健福祉領域のソーシャルワーク発展の歴史について理解する。 キーワード：コミュニティケア運動、ピアーズ、精神衛生運動、サイキアトリックソーシャルワーカー、慈善組織協会 (COS)、セツルメント運動	教科書 p.64～66の巨大収容施設から脱施設への流れ、精神障害を持つ人々へのソーシャルワークの嚆矢について理解する。
14	アメリカにおける精神保健福祉分野のソーシャルワーク発展の歴史② (第3章II)	アメリカにおけるソーシャルワークの実践方法の発展と様々なアプローチや理論について理解する。 キーワード：コミュニティメンタルヘルス運動、回転ドア現象、ACT、家族システム、エコロジカルな視点、ストレングス視点、ナラティブアプローチ、社会構成主義アプローチ、認知行動アプローチ、クライシス介入、課題中心主義、クライアント主導、メンタルヘルスソーシャルワーカー、クリニカルソーシャルワーカー	教科書 p.66～71のソーシャルワークの実践方法や理論、それらの変遷について整理する。
15	日本におけるソーシャルワークの歴史と精神保健のかかわり (第3章III)	日本におけるソーシャルワークの歴史と精神保健のかかわりについて理解する。 キーワード：「精神病患者監護法」、「精神病院法」、「精神衛生法」、ライシャワーアメリカ大使刺傷事件、Y問題、宇都宮病院事件、「精神保健法」、「精神保健福祉士法」	教科書 p.71～76の日本の精神保健施策の変遷とそれらの契機となった事件やその背景について整理し理解する。

■レポート課題 ※ 2 課題とも1,900字以上記述してください。

1 単位め	「精神保健福祉援助技術総論」1 単位めに該当 我が国における PSW の歴史と関連づけて、精神保健福祉士の専門性について述べてください。
2 単位め	「精神保健福祉援助技術総論」2 単位めに該当 次の用語を解説してください。(1用語1,000文字程度で) ①ストレングスモデル ②スーパービジョン スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

■アドバイス

テキストは初めて学ぶ人にはやや困難な内容かもしれませんので、参考文献にも目を通し、調べ学習をしてください。また、「ソーシャルワーカーは足で稼ぐ」といわれているほど自分が一つの社会資源となって動くことが大切ですので、実際の現場に足を運ぶなど、目で見て確かめることもできれば行ってみてください。人とかかわる仕事をしていく上で、いかにコミュニケーションをとっていけるかはとても大切な能力です。自分がしたいことを相手に伝えること、わからないことを人に聞くことも大事なコミュニケーション能力です。

1 単位め アドバイス

歴史的に起きた様々な事件、特に「Y 問題」を踏まえて、精神保健福祉士としての専門性とは何か、精神保健福祉士協会の動きも含め、専門職としての「専門的知識」「専門的技術」「価値観（倫理観）」等に言及してまとめてください。

2 単位め アドバイス

- ①第2章をよく読み、エンパワメントと関係づけてまとめてください。
- ②スーパービジョンの意義・機能と形態について述べてください。

■科目修了試験 評価基準

教科書の内容を理解しているかどうかを評価の対象といたします。

■参考図書

- 1) F・P・バイステック著 尾崎新他訳『ケースワークの原則』誠信書房、1996年
- 2) C・A ラップ、R・J ゴスチャ著 田中英樹監訳『ストレングスモデルー精神障害者のためのケースマネジメント 第2版』金剛出版、2008年

※教科書記載の参考図書も参考にするとよいでしょう。